（お　知　ら　せ）

 げんでん

平成２０年４月４日
日本原子力発電株式会社

東海・東海第二発電所の近況について（平成20年4月）

1．発電所状況について（4月4日現在）

東海第二発電所 沸騰水型 （定格電気出力110万 kW）	・第 23 回定期検査を 3 月 18 日から実施中。
東海発電所 炭酸ガス冷却型 （廃止措置作業中）	・熱交換器等解体撤去工事の内、1 号及び 2 号熱交換器周辺機器の撤去工事を実施中。 ・燃料取扱建屋領域に設置された機器の撤去工事を実施中。 燃料取替機等の撤去工事を実施中。 ・第 2 回クリアランス制度対象物（約 291 トン）放射能濃度確認申請を実施。（3 月 26 日） クリアランス制度対象物の再生加工品（遮へい体 39 体）のJ-PARC への納入。ベンチ 2 脚を（社）日本アイソトープ協会並びに北陸電力（株）志賀原子力発電所に納品。

●東海第二発電所の定期検査状況

（1）主要設備の実績

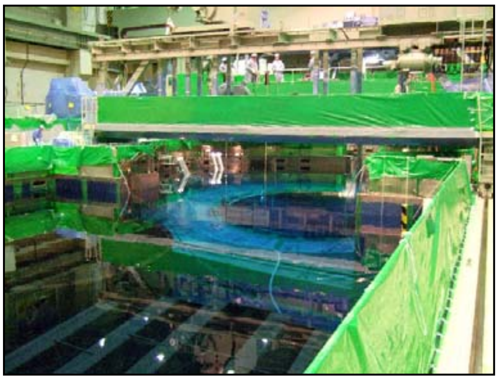
①原子炉関連設備

原子炉圧力容器の上ぶたを取り外し、燃料集合体全数７６４体を原子炉内から取り出しました。

②タービン関連設備

低圧タービン（Ａ）及び（Ｃ）の車室開放点検を実施するため、ケーシングを開放しました。

定期検査現場の状況（4月2日撮影）



原子炉建屋

タービン建屋

（定期検査の工程表は添付参照）

URL：http://www.japc.co.jp/tokai/teiken/tokai2/23/index.html

（2）その他定期検査中に発生した事象

・全燃料移動後における制御棒の部分挿入について

4月2日（水）に、原子炉内全燃料の使用済燃料プールへの移動後に行っていた、制御棒駆動水圧系の方向制御弁の漏えい試験において、制御棒1本がわずかに（約30cm）原子炉内に挿入したことを確認しました。原因を調べた結果、隔離弁の弁座部からの微少の水漏れによって制御棒が作動したものと推定しています。

なお、当該隔離弁は今定期検査において計画的に取り替える予定です。

2．　プレス及びホームページ掲載実績について（3月8日～4月4日）

（1）法律に基づく報告に該当する重要な事象　　　　　　　　　　な　し

（2）その他の情報

①プレス発表　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　３　 件

・3月14日（金）

「東海第二発電所　第23回定期検査の開始について」

・3月25日（火）

「東海発電所、東海第二発電所　原子力事業者防災業務計画の修正について」

・3月31日（月）

「敦賀発電所3，4号機安全審査における追加調査報告書ならびに
敦賀発電所1，2号機および東海第二発電所の耐震安全性評価結果
中間報告書の提出について」

②お知らせプレス　　　　　　　　　　　　　　　　　　2　 件

・3月26日（水）

「定期検査作業における1日の線量管理目安値の超過について」

・4月　4日（金）

「東海・東海第二発電所の近況について」

3．　その他

（1）保安検査対応状況

・２月２５日～３月２１日において東海第二発電所、および３月１０日～３月１４日において東海発電所の平成１９年度第４回保安検査が実施されました。

・東海第二発電所での検査は、発電設備に係る総点検結果を受け、国による特別な保安検査として実施されましたが、再発防止対策が経営層の実質的な意識改革や改善努力のもと、PDCA サイクルが機能する仕組みとして構築され、自律的かつ継続的な改善につなげていることが確認されました。その結果3月31日に、今回の保安検査をもって特別な保安検査は終了するとの国の評価をいただきました。今後は、再発防止対策への取り組みを継続し、従来の保安検査において確認されることになります。

（2）耐震関係

・耐震安全性評価に係わる更なるデータ拡充のために、東海地区の海上音波探査調査を平成19年12月3日より着手しておりましたが、海象状況により当初の計画どおりの調査が実施できなかったことや、現在までに得られたデータの解析状況を踏まえた補足の調査を行うために、引き続き本年9月頃まで継続して実施していくこととしました。（3月31日公表済み）

・「発電用原子炉施設に関する耐震設計審査指針」の改訂を契機として、自主的な取り組みにより非常用ガス処理系配管の耐震裕度向上工事に関し、配管の据付工事を実施しております。

・新潟県中越沖地震を踏まえた東海第二発電所の当面の対応については、点検結果より得られた知見をもとに地震対策への反映に関する検討を行ってきましたが、今回以下の項目について運用を開始しました。

○発電所で夜間・休祭日の待機当番制（４月１日より運用開始）

○東海村消防署との専用回線を中央制御室に設置（４月１日より運用開始）

○衛星電話2台、衛星携帯電話3台の配備（３月25日より運用開始）

（3）東海発電所クリアランス対象物

・当社にて放射能を測定し評価した金属について、国に東海発電所において用いた資材等に含まれる放射性物質の放射能濃度についての確認申請を３月26日に行いました。確認申請は初回（平成１９年４月27日）に次いで2回目となります。

・再生加工品（遮へい体39体）をＪ－PARC へ搬出しました。（3月24日と3月28日）
また、ベンチ（背なし）2脚を（社）日本アイソトープ協会（RI 協会）並びに北陸電力（株）志賀原子力発電所に納品しました。

URL：http://www.japc.co.jp/haishi/re_output.html

（4）発電所構内におけるスレート（石綿含有）の切断作業について

・東海第二発電所の管理区域外にある給水処理建屋の扉修繕工事（請負作業）において、３月６日、予定外作業で外壁材のスレート切断作業が行われました。そのスレートには石綿が含まれている可能性があることから、サンプルを分析・検査した結果、石綿成分が含まれていることが確認されました。なお、これによる周辺環境への飛散の影響はないと考えております。

本事象を受け、当社はもとより関係協力会社に対しても予定外作業の禁止と関連法令厳守を周知徹底し、今後とも再発防止に努めてまいります。

4．イベント情報

・地域イベントへの参加出展等

月　日	イベント名	場　所	内　容
4 月 6 日(日)	第20回東海さくらまつり	東海村 阿漕ヶ浦公園	踊りへの参加

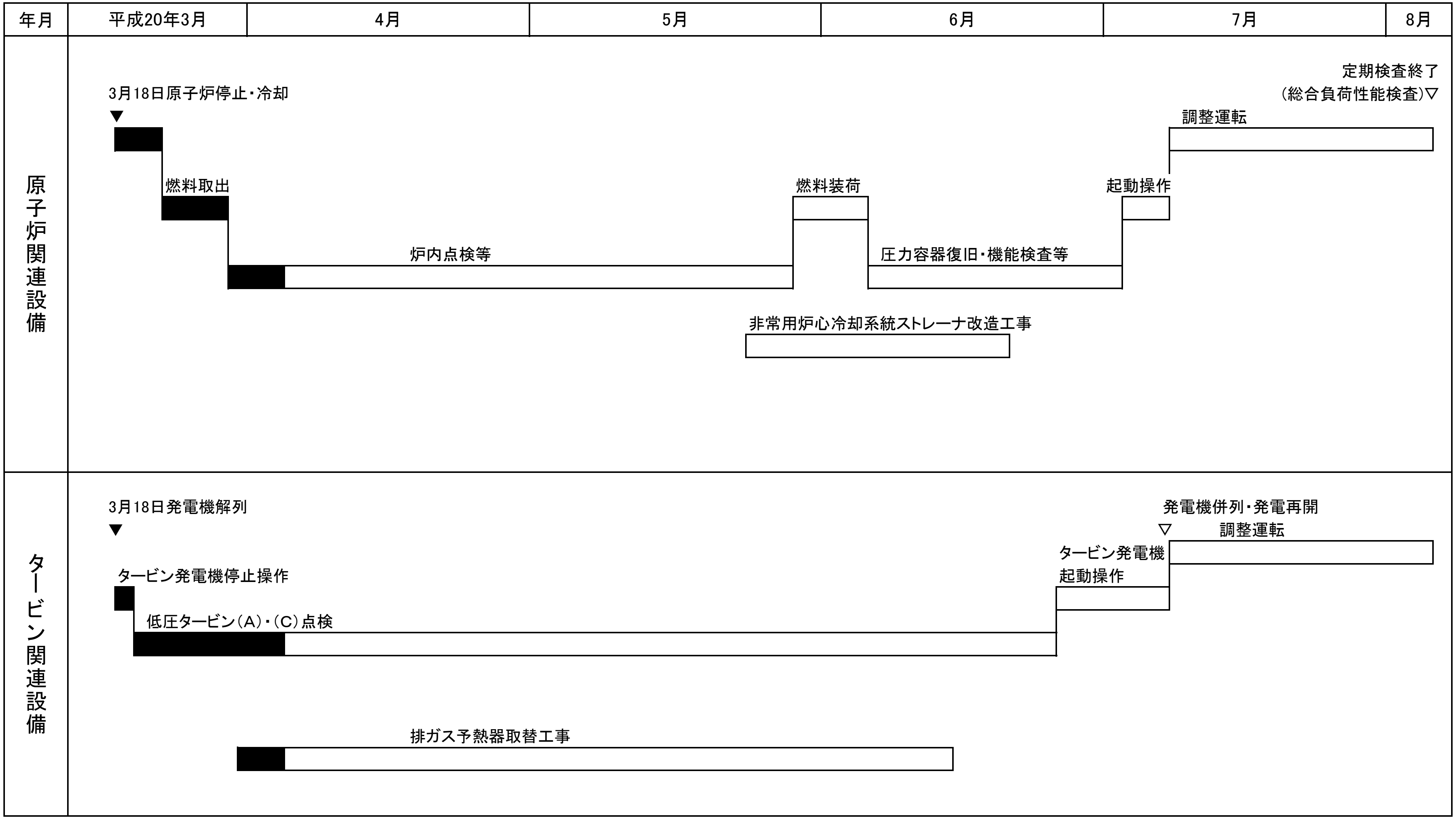
以　上

＜添付資料＞

・東海第二発電所　第23回定期検査　工程表

東海第二発電所　第23回定期検査　工程表

平成20年4月4日現在



添付資料